

〔A類社会コース， A類現代教育実践コース環境教育プログラム， B類社会コース 対象〕

地理総合 解答例

令和7年度
一般選抜前期

地理総合 I

問1 (1)

①	ア	②	ア	③	エ
---	---	---	---	---	---

(2)

地点 P では真夜中にあたる時間でも水平線付近に太陽がみえ， ほぼ1日じゅう昼のように明るく， 夜は白夜の状態となる。地点 Q では昼の長さが1年のうちで一番長くなり， 南中時刻には太陽が真上から差し込む。地点 R ではいつもと同じように， 昼の時間は夜の時間とほぼ同じである。

(3)

球体である地球は， 太陽からの照射を受けるとき， 低緯度に比較して高緯度ほど広い面積で受け止めることになり， 単位面積あたりの照射量が高緯度では小さくなる。このため， 低緯度ほど気温が高く， 高緯度ほど気温が低くなる。

問2 7 月 20 日 17 時 25 分

問3 (1)

①	角度	②	面積	③	南北方向の距離
---	----	---	----	---	---------

(2)

グード図法は， 低緯度部分のひずみが小さい正積図法のサンソン図法と高緯度部分のひずみが小さい正積図法のメルカトル図法を組み合わせることで， 高緯度側も低緯度側もひずみを抑えている。さらに図4d では， 陸地で断裂させないように基準となる経線を複数定めて投影し， 東西のひずみも抑えて陸地部分をバランスよく描く工夫がなされている。
--

(3)

カ	×	海洋が断裂され， 世界の海流のつながりが把握できない。
キ	○	陸地に関する内容で， 面積的なまとまりが推定しやすくなる。
ク	○	面積が正しい地図に描くと， ドットのまとまりや密度が推定できる。
ケ	×	面積に関係がない指標なので最適であるとはいえない。

問4 採点基準

- ・ 具体的内容がわかるように記述されているか。
- ・ 地理情報システムで表示される地図の内容にも言及されているか。
- ・ 「位置」が表示されることによる効果や利益に言及できているか。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

地理総合 解答例

令和7年度
一般選抜前期

II

問1

- A 家畜の飼料 B バイオエタノール
C 特定の国によってトウモロコシや大豆の生産が独占
D これらの作物の価格が上昇 E 安価 F 食料自給率

問2

オーストラリアからの小麦の輸入が多い日本では、小麦を原料とするパンやうどんの価格が上昇したと考えられる。

問3

欧米諸国に対して日本では、30～40代にかけて働く女性の割合が低下している。これは子育て支援や父親の出産・育児休暇制度の整備などが進んでいないため、女性が育児に専念せざるを得ないためである。これにより、仕事を続けたい女性は出産をためらい、少子化が加速することにもつながる。

問4

【インナーシティ問題・スラムの特徴とそれぞれの発生の背景】
先進国のインナーシティは、都心部の環境悪化やモータリゼーションに伴う人口の郊外化により、中心部には低所得者層が住み、失業や犯罪などが生じている。発展途上国のスラムは、農村部で増加した人口が貧困により都市部へ流入するが、産業が不十分のため定職につける人は僅かで所得が少なく、上下水道などのインフラが未整備で不衛生なスラムに居住する。

【インナーシティ問題とスラムの発生の背景として最も異なる点】
先進国のインナーシティ問題は、人口の郊外化によってもたらされ、発展途上国のスラムは、人口流入の多さに対して産業の発達やインフラ整備が追いつかないために生じる。

問5

- G 食料不足, H 土地の劣化, I 森林破壊, J 地球温暖化
K 化石燃料の使用増加, L フロンガスの排出増加

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

地理総合 解答例

令和7年度
一般選抜前期

Ⅲ

問1 1 沖積 2 治水 3 アスファルト 4 内水 5 調整池（調節池）

問2 細い実線の主曲線が10m間隔で描かれているため，2万5000分の1と判断できる。

問3 水無川と天井川。

水無川の根拠は，小倉谷を流れる河川が通常地表水のない破線で表記されている。天井川の根拠は河川の下を道路や線路が走っている，津屋川と合流せず，津屋川を越えて流れていることから，河床が周囲よりも高い。

問4 南小倉・一色の集落は扇状地の扇端にあたり，水の得やすい湧水帯と推測される。扇状地周辺において，水利に恵まれていることから，この地域の開発や集落の立地が早く行われたと考えられる。

問5 津屋川の左岸側には，堤防の記号が連続することから，有尾，横屋集落における水害を防ぐためのハード対策が取られている。右岸側は扇状地の扇端であり，堤防の記号が見られない無堤部となっている。しかし，集落との間の荒地・畑・水田地帯を洪水時に冠水する遊水空間として機能させていると考えられる。

問6 ゼロメートル地帯

等高線に着目すると，東西線に沿って標高0mの等高線が東西に延びている。東西線の北側にある水準点と三角点の標高がそれぞれ－2.4m，－2.6mを示している（西葛西にも－2mを示す標高点がある）ことから，東西線の南側は標高0m以上の土地で，北側が標高0m以下のゼロメートル地帯である。ゼロメートル地帯が広がる理由は，高度経済成長期において，工業用に大量の地下水などを汲み上げたため，地盤沈下が激しく起こったからである。

問7 海や河川に面した標高の低い土地であるため，集中豪雨による浸水，台風に伴う高潮・高波による浸水，地震に伴う津波による被害が予想される。地下水面が浅いことから，地震による液状化による被害なども予想される。

問8 洪水ハザードマップを用いて，浸水範囲，浸水深，浸水継続時間などの把握や避難場所や避難経路の確認をすることにより，発生する水害のリスクや避難行動に関する知識・理解を深めておくこと。地域の防災訓練に参加したり，日頃から非常用持ち出し品や備蓄品の準備に取り組んでおく。